

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 81

ミシンのステッチサンプル帳を作ってみました・・・



1月の終わりを迎える時期に 東京で4月中旬の気候になってしまい一週間前には連日 日本海側や北日本で記録的な積雪のニュースが流れていたはずなのに・・・と思いつつ 今年の気象変化の波も大きなものになりそうです。繊維の業界は寒い時には寒く 暖かい時には暖かかないと商品の動きが悪くなってしまいますので 異常気象はありがたいものになっています。季節感が薄れるとおしゃれも四季に合わせた楽しみが減ってしまいますが 1月末に出た気象庁の1ヶ月予報によれば 平年より暖かくなるというアナウンスになっていますのでちょっと 早めの春物を用意しておいた方がよいかもしれません。


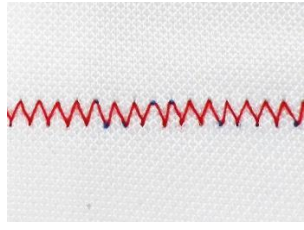


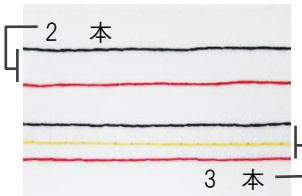
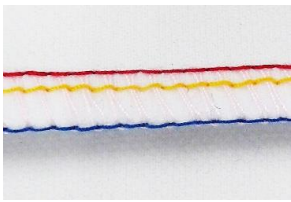
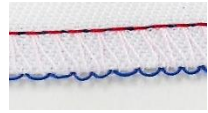

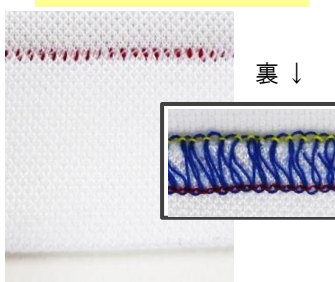
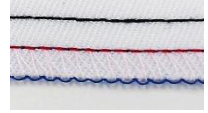
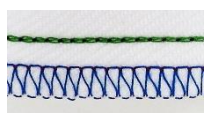

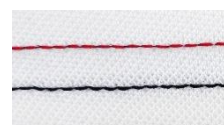
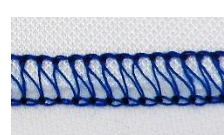
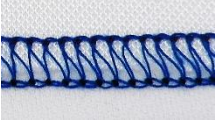
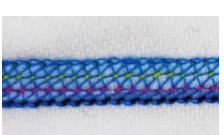
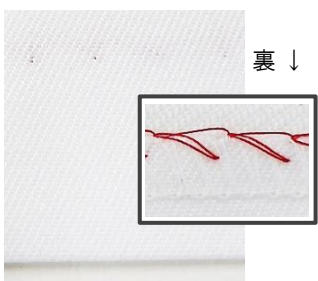
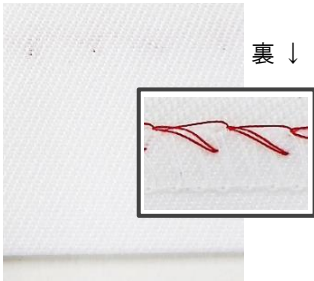
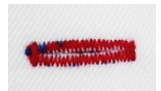




ミシンの種類と各々の縫いステッチ

今回のテーマは縫製に使うミシンの種類と縫いステッチについてのお話になります。製品検品の不良の原因に縫い外れや縫い糸切れという表現をすることがありますが ミシン縫製のときに縫うべきところから外れてしまったり ミシン糸が切れてしまって不良品になってしまうことがあります。ミシンの種類も多くあるのですが一度ミシンの種類とステッチについてまとめておこうということになりました。しかも上糸(うわいと)と下糸(したいと)の色を変えてそれぞれの縫い糸の動きが目に見えるように作ることにしました。



しかし実際にはそんな面倒な作業を引き受けてくれるところはなかなかないのですが 筆者のお付き合いのある企画会社がサンプル縫製用に十数台のミシンを持っていて なんと一人の担当者が全てのミシンを扱えるということを知ったので今回の話を持ち込みました。当センターの職員研修用資料ということを理解していただき ありがたいことに引き受けてくれました。さらに別の縫製工場にも数点お願いをし全部で16種類のミシンで23点のステッチサンプルを作ることができました。ミシン名と縫いサンプルの画像を紹介しておきます。

ミシン名と縫い画像

<p>本縫いミシン</p> 	<p>千鳥(2点千鳥)</p> 	<p>二重環縫い</p> <p>表 </p> <p>裏 </p>	<p>2本針(3本針) 二重環縫い</p>  <p>2本</p> <p>3本</p>
<p>2本針オーバーロック</p> 	<p>1本針オーバーロック</p> <p>表 </p> <p>裏 </p>	<p>すそ引き(口伏せ)</p>  <p>裏 ↓</p>	<p>インターロック(安全縫い)</p> <p>表 </p> <p>裏 </p>
<p>平3本針 片面飾り 両面飾り</p> <p>片面飾り</p>  <p>両面飾り</p>	<p>平2本針 片面飾り</p> <p>表 </p> <p>裏 </p>	<p>フラットシーマ</p> <p>表 </p> <p>裏 </p>	<p>すくい縫いミシン</p>  <p>裏 ↓</p>
<p>はとめ穴かがり</p>  <p>眠りはとめ・はとめ・流れはとめ</p>	<p>眠り穴かがり (ウィップ・パール)</p> <p>ウィップ縫い </p> <p>パール縫い </p>	<p>かん止め(かんぬき止め)</p> 	<p>菊穴 (丸穴かがり 菊穴かがり)</p> <p>丸穴かがり </p> <p>菊穴かがり </p>

出来上がってみれば「こんなサンプル帳見たことないぞ」というくらい素晴らしいものに仕上がりました。縫い糸の色を全て替えてみると思っていた縫い糸の動きと違っていたり 縫い糸だけでデザイン的な要素を含んでいたりと 新しい発見もありました。“フラットシーマ”のミシンなどは 6 本の糸を使っているので色も 6 色となり綺麗な仕上がりになっていました。いままでも縫いのサンプルは数多く見ていますが すべて同色で縫っているのでミシン糸の動きまでは理解しにくいものになっていました。

縫製知識研修にも大活躍のこの冊子

筆者の大好きな“すくい縫いミシン”は表にまったく糸が出ていないのが判ります。また裏目にでたステッチの方が面白い出方をしているものもあるので 貴重な資料になりました。ともあれミシンの名前と縫い方が結びつけば縫製知識もかなり高まりますので少しずつでも覚えていきましょう。職員研修のときには最後にジーンズを使ってそれぞれの縫製部位にどのミシンを使っているかの簡単なテストをやってみました。縫いの形や動きでミシン名を推測するのですが 思った以上に楽しい実習となりました。持っている服の縫い方を見て試しに考えてみてください。

サンプル帳には用途や特徴などの記述を入れてあります。サンプル帳は業務本部 東京事業所 大阪事業所 立石ラボ に置いてありますので詳細を知りたい方は見てください。また興味のあるお客様へのプレゼンにも利用してください。

原稿担当 : 竹中 直(チヨク)

自由研究協力者:大阪事業所 長谷川 孝雄

:立石ラボ 住山 久明

